

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 先生が子どもと向き合う時間を増やすために（40分）</p> <p>平成29年4月28日、文部科学省から「教員勤務実態調査（平成28年度）の集計（速報値）について」の報道発表がありました。これを受けた新聞報道によると、先生方の勤務時間は平均1日11時間以上、過労死ラインとされる月80時間の残業を超える例が、小学校で約3割、中学校では約6割にも及んでいました。</p> <p>これまでも先生方が忙しいという話は聞いておりましたが、今回の調査はそれを裏付けるものとなっています。</p> <p>子どもたちは、学校でたくさんのことを学びます。</p> <p>子どもたちの教育をより充実させるためには、学校教育を担う先生方の自己研鑽だけではなく、生活者としてのワークライフバランスも重要であると考えます。</p> <p>働き方改革とは遠く離れた感のある今回の実態調査ですが、この客観的な根拠を基に改善が図られることを期待したいと思います。</p> <p>全国から抽出した公立小・中各400校を対象に行われたということですが、鶴ヶ島市での実態について伺います。</p> <p>（1）市内公立小・中学校の教職員の勤務実態について ア 小・中学校教職員の残業時間の把握は。 イ 多忙の要因となる業務について</p> <p>（2）市内公立小・中学校の学級規模について ア 1学級当たりの生徒児童数 イ 教員1人当たりの児童生徒数 ウ 教職員定数について</p> <p>（3）市内公立小・中学校の教職員のワークライフバランスについて ア ノー残業デーの取組 イ 育児休業の取得状況</p> <p>（4）学校の組織運営の在り方を踏まえた教職調整額の見直し等に関する検討会議審議のまとめについて</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p data-bbox="156 241 710 275">2 ごみの総量抑制について（20分）</p> <p data-bbox="156 347 1177 539">「国連人間環境会議」から始まった6月5日の世界環境デーは、日本とセネガルの共同提案により国連総会で制定されました。鶴ヶ島市でも毎年「6月は環境月間」として、市役所ロビーでの展示等、イベントを行っています。</p> <p data-bbox="156 562 1177 754">また、本市は、他に先がけて平成3年11月10日に「地球にやさしいリサイクル都市づくりの誓い」を宣言しました。この宣言は、単なるごみ問題としてのリサイクルにとらわれず、生活文化問題として、また、都市問題として循環型社会の形成を目標としたものとなっています。</p> <p data-bbox="156 777 1177 920">ごみが減ることで、焼却だけでなく埋立てなどの処理をしなければならぬ量も減り、それは、地球温暖化の原因といわれる温室効果ガスの排出を抑制することにもなります。</p> <p data-bbox="156 943 1177 1023">昨年度、高倉クリーンセンターでの鶴ヶ島市の焼却費用（負担金）は年間約7億円となっています。</p> <p data-bbox="156 1046 1177 1238">「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」の施行から20年が経過し資源の分別収集も進みましたが、発生抑制の意識は共有されているのでしょうか。改めて、ごみの総量抑制についての取組を伺います。</p> <p data-bbox="204 1305 826 1500">(1) 市民一人当たりのごみ排出量について (2) 事業系ごみの抑制について (3) 生ごみリサイクルについて (4) 環境月間の取組について</p>	市長